

コニカミノルタグループ 2012年3月期 第3四半期決算説明会

2012年1月31日

コニカミノルタホールディングス株式会社
常務執行役 安藤吉昭

- 本資料の記載情報
本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。
- 将来見通しに係わる記述についての注意事項
本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

本日お伝えしたいメッセージ



KONICA MINOLTA

3Q実績(10-12月)について

情報機器事業及びオプト事業がグループ業績を牽引し、増益基調へ転換。
円高やタイ洪水の影響を受けながらも、事前の収益想定を上回る着地。

- ▶ タイ洪水の影響は、売上高で凡そ△30億円、営業利益で凡そ△15億円。
- ▶ 情報機器事業では、プロダクションプリントが好調を維持。オフィスカラーも堅調に推移。
OPSの展開とともにグローバル大口顧客の獲得も順調。
- ▶ オプト事業では、TACフィルムがVA-TAC新製品による年初からの堅調なモメンタムを維持。

4Qの業績見通しについて

円高、欧州不安など予断を許さない環境ながら、9カ月累計の進捗状況、特に足元のモメンタムを踏まえ、前回予想の「売上高:7,800億円、営業利益:400億円」を据え置く。

- ▶ 為替前提は直近の動向を踏まえ、ユーロを5円円高に見直し「1ドル=78円、1ユーロ=100円」とする。
- ▶ 欧州問題による事務機需要減速を懸念するも、当期中は状況に大きな変化はないものと見込む。

2011年度3Q 全社業績要約



KONICA MINOLTA

	11年度	10年度	YoY	11年度	10年度	[億円] YoY
	3Q	3Q		3Q累計	3Q累計	
売上高	1,820	1,835	△ 14	5,604	5,753	△ 149
売上総利益	864	837	27	2,600	2,646	△ 45
(売上総利益率)	47.5%	45.6%		46.4%	46.0%	
営業利益	77	56	20	233	283	△ 50
(営業利益率)	4.2%	3.1%		4.2%	4.9%	
のれん代償却額	22	20	1	66	63	3
のれん代償却前営業利益	99	77	22	299	346	△ 47
(のれん代償却前営業利益率)	5.4%	4.2%		5.3%	6.0%	
経常利益	73	44	29	189	223	△ 34
四半期純利益	16	22	△ 5	54	108	△ 54
(四半期純利益率)	0.9%	1.2%		1.0%	1.9%	
EPS(円)	3.11	4.06	△ 0.95	10.18	20.35	△ 10.17
設備投資額	86	85	1	224	331	△ 108
減価償却費	124	137	△ 13	360	411	△ 51
研究開発費	187	188	△ 1	555	541	14
FCF	18	△ 68	86	177	58	120
為替レート [円] USD	77.38	82.64	△ 5.26	78.99	86.84	△ 7.85
Euro	104.29	112.23	△ 7.94	110.61	113.30	△ 2.69

2011年度3Q セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

	売上高			[億円]		
	11年度 3Q	10年度 3Q	YoY	11年度 3Q累計	10年度 3Q累計	YoY
情報機器	1,319	1,303	16	4,009	3,963	45
オプト	277	302	△ 25	911	994	△ 83
ヘルスケア※	173	176	△ 3	519	625	△ 106
その他事業	34	36	△ 2	113	116	△ 3
ホールディングス他	18	17	1	52	55	△ 3
グループ計	1,820	1,835	△ 14	5,604	5,753	△ 149

	営業利益					
	11年度 3Q	10年度 3Q	YoY	11年度 3Q累計	10年度 3Q累計	YoY
情報機器	94	64	30	246	260	△ 13
オプト	25	21	4	97	100	△ 3
ヘルスケア※	△ 2	0	△ 2	△ 6	6	△ 12
その他事業	3	5	△ 2	15	16	△ 1
ホールディングス他	△ 42	△ 33	△ 10	△ 119	△ 100	△ 20
グループ計	77	56	20	233	283	△ 50

※10.1Q～10.2Qはグラフィック事業を含む
(10.3Q以降は情報機器事業に編入)

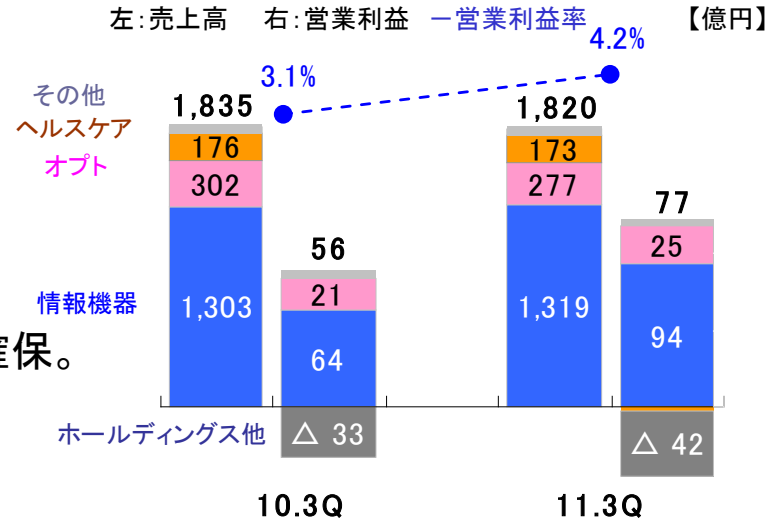
2011年度3Q業績総括



KONICA MINOLTA

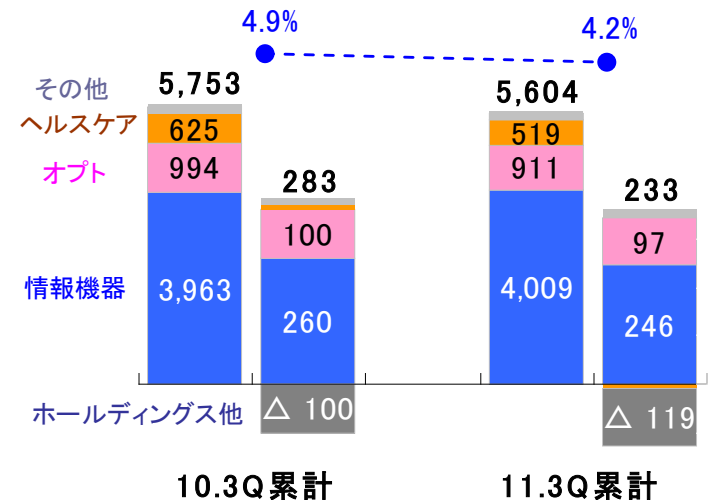
3Q実績(10-12月)

- 売上高: 前年同期比 $\Delta 1\%$ (為替影響除く $+4\%$)
- 営業利益: 前年同期比 $+36\%$ (為替影響除く $+81\%$)
- ▶ 情報機器事業: オフィス・プロダクションプリントとも高採算のカラー製品の販売が好調に推移し、増収増益。
- ▶ オプト事業: 生産調整やタイ洪水等の影響を受け全般に低調な中、TACフィルムの堅調や費用削減効果もあり、減収ながら増益を確保。
- ▶ ヘルスケア事業: デジタル入力機器は新製品投入で販売を伸ばすが、フィルムの販売減少が続き、減収減益。



3Q累計実績(4-12月)

- 売上高: 前年同期比 $\Delta 3\%$ (為替影響除く $+1\%$)
- 営業利益: 前年同期比 $\Delta 18\%$ (為替影響除く $\Delta 2\%$)
- ▶ 情報機器事業: 震災やタイ洪水の影響、為替の円高を織り込んでも増収を確保。営業利益も回復モメンタムにあるが、これらのネガティブ要因を全ては挽回できず。
- ▶ オプト事業・ヘルスケア事業: 3Q累計も概ね3Qと同じ状況。



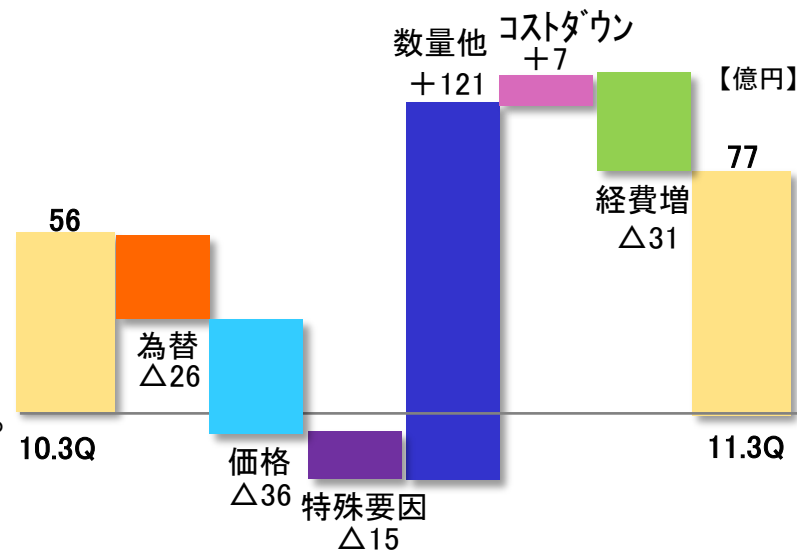
営業利益増減要因(前年同期比)



KONICA MINOLTA

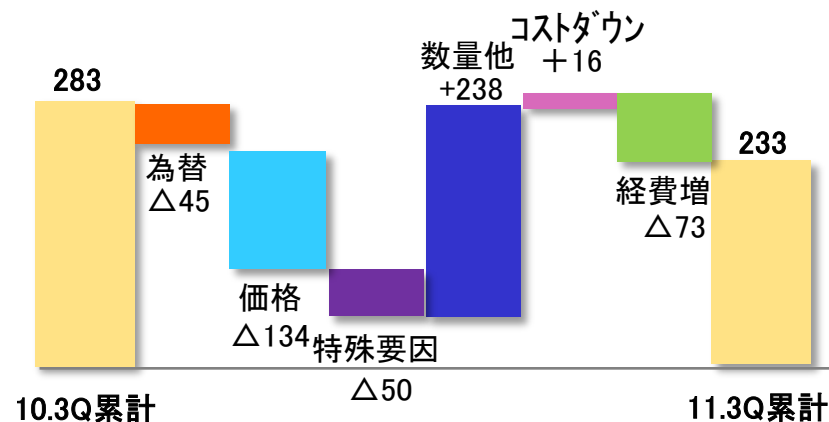
3Q実績(10-12月)

- ▶ 為替影響：ユーロの影響(13億円)を大きく受ける。
- ▶ 特殊要因：タイ洪水の影響として、情報機器事業は約△5億円、オプト事業は約△10億円。
- ▶ 数量他：情報機器事業は、高採算製品の販売増による利益増で+約100億円。
- ▶ 経費：情報機器事業の販売強化のための費用増やM&Aなど。



3Q累計実績(4-12月)

- ▶ 為替影響：USDの影響(27億円)、ユーロの影響(13億円)。
- ▶ 特殊要因：タイ洪水の影響に加えて、情報機器事業は上半期に東日本大震災の影響△約35億円を受ける。



情報機器事業 概況



KONICA MINOLTA

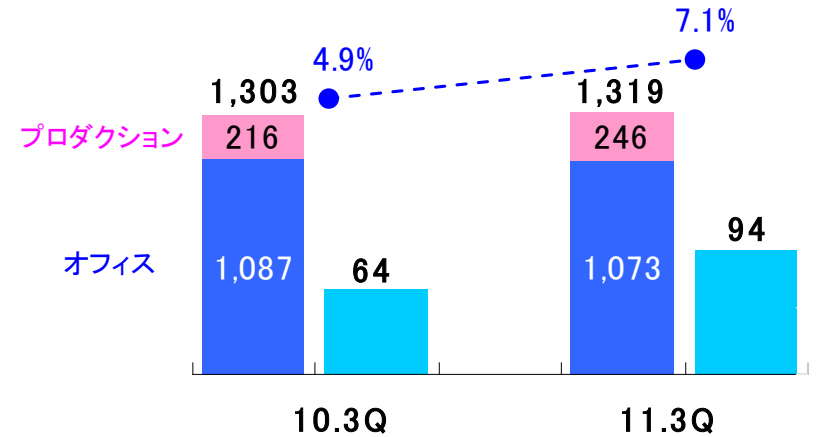
3Q実績(10-12月)

- 売上高: 前年同期比+1%(為替影響除く+7%)
- 営業利益: 前年同期比+46%(為替影響除く+79%)
- ▶ オフィス分野: カラー機が日米欧他の全地域で販売好調を維持
- ▶ プロダクションプリント分野: カラー新製品が牽引し大幅増収。日米欧の先進国市場に加え、中国での成長も顕著。

※地域別売上成長率(現地通貨ベース)

	日本	米国	欧州	中国
オフィス	+0%	+10%	+3%	+4%
プロダクションプリント	+5%	+15%	+32%	+65%

左:売上高 右:営業利益 一営業利益率 【億円】

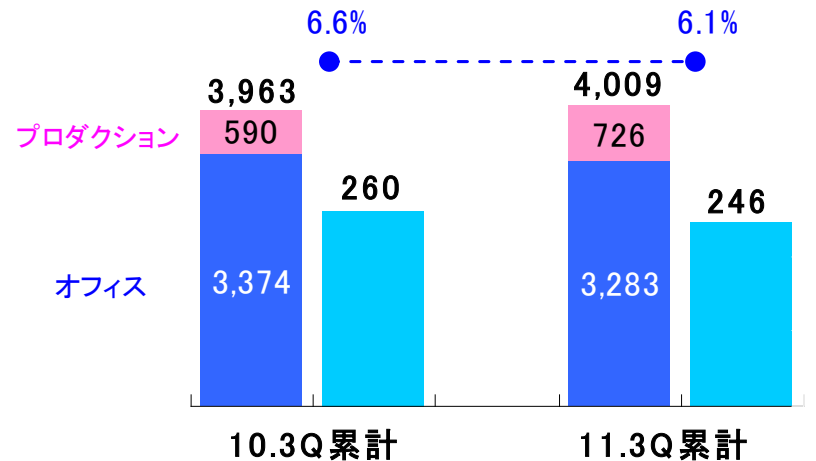


3Q累計実績(4-12月)

- 売上高: 前年同期比+1%(為替影響除く+5%)
- 営業利益: 前年同期比+△5%(為替影響除く+3%)
- ▶ オフィス分野: 1Qは震災影響を受けるも、2Q以降は回復基調。
- ▶ プロダクションプリント分野: カラー、モノクロとも当期間を通して好調。

※地域別売上成長率(現地通貨ベース)

	日本	米国	欧州	中国
オフィス	△1%	+6%	+4%	+12%
プロダクションプリント	+52%	+17%	+36%	+48%



情報機器事業 販売状況



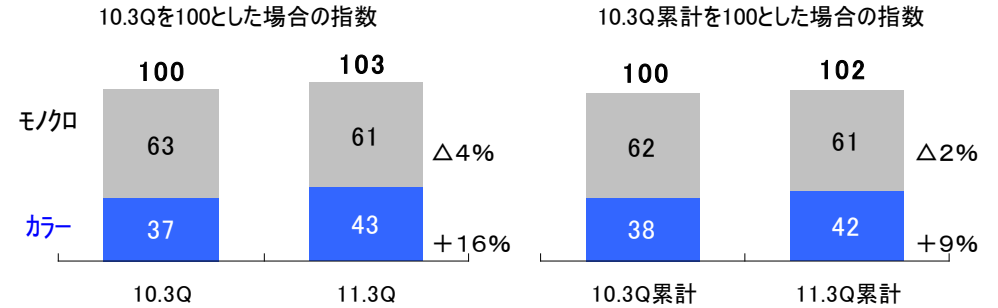
KONICA MINOLTA

オフィスA3MFP(数量ベース)

- ▶ 当期間を通してカラー機が牽引し、前年同期を上回る。

※カラー機地域別販売台数成長率(前年同期比)

	日本	米国	欧州	中国
3Q	+5%	+18%	+10%	+55%
3Q累計	+4%	+12%	+8%	+52%

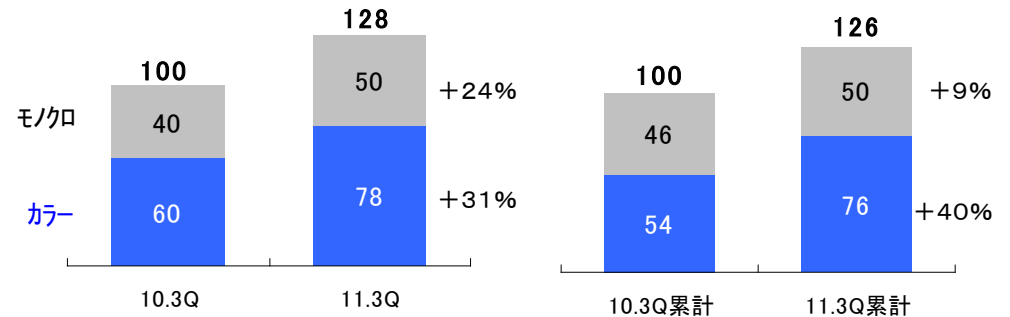


プロダクションプリント(数量ベース)

- ▶ カラー機、モノクロ機ともに当期間を通して好調に推移。

※カラー機地域別販売台数成長率(前年同期比)

	日本	米国	欧州	中国
3Q	+48%	+1%	+62%	+98%
3Q累計	+81%	+21%	+71%	+103%

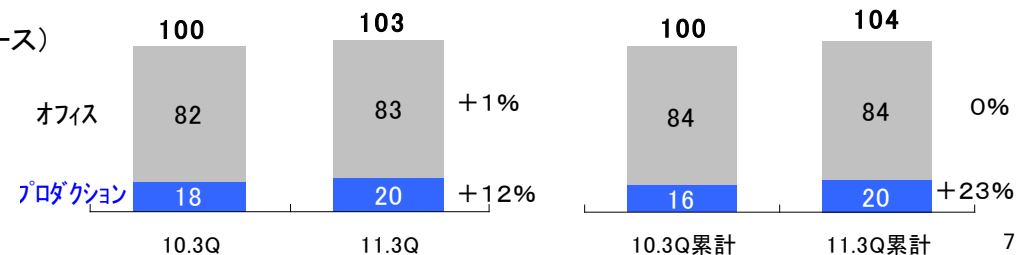


ノンハード売上(現地通貨ベース)

- ▶ プロダクションプリントが成長を牽引。

※プロダクションプリントの地域別ノンハード売上成長率(前年同期比、現地通貨ベース)

	日本	米国	欧州	中国
3Q	+2%	+9%	+15%	+47%
3Q累計	+57%	+15%	+17%	+43%



オプト事業 概況

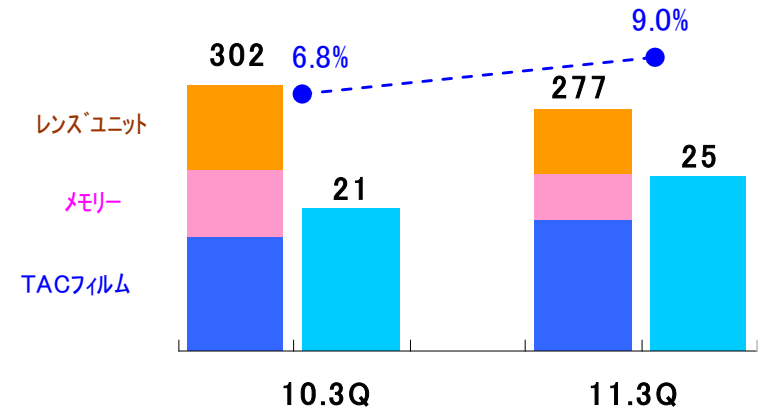


KONICA MINOLTA

3Q実績(10-12月)

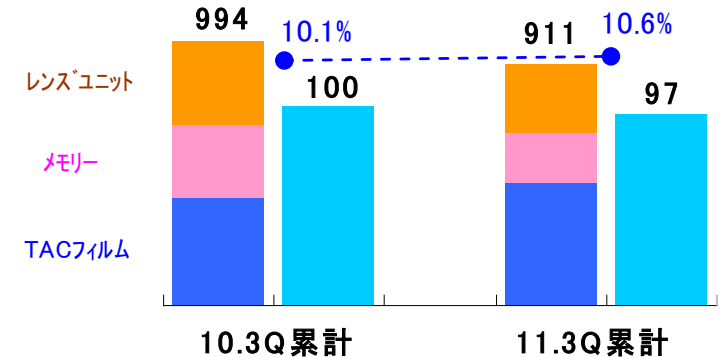
- 売上高: 前年同期比 $\Delta 8\%$
- 営業利益: 前年同期比 $+22\%$
- ▶ TACフィルム: 上半期より引き続き堅調に推移し、増収。
- ▶ HDD用ガラス基板: 顧客側の生産調整にタイ洪水の影響が重なりスローダウン。
- ▶ 光ピックアップレンズ: DVD用はやや上向くも、BD用は回復せず、低調に推移。
- ▶ レンズユニット: 携帯電話用はやや持ち直すも、交換レンズやDSC用ズームレンズは顧客や部材メーカーのタイ洪水被災により、停滞。

左:売上高 右:営業利益 ー営業利益率 【億円】



3Q累計実績(4-12月)

- 売上高: 前年同期比 $\Delta 8\%$
- 営業利益: 前年同期比 $\Delta 4\%$
- ▶ TACフィルム: VA-TAC新製品が牽引し、当期間を通して堅調なモメンタムを維持。
- ▶ その他は、生産調整やタイ洪水の影響を受け、全般に低調。



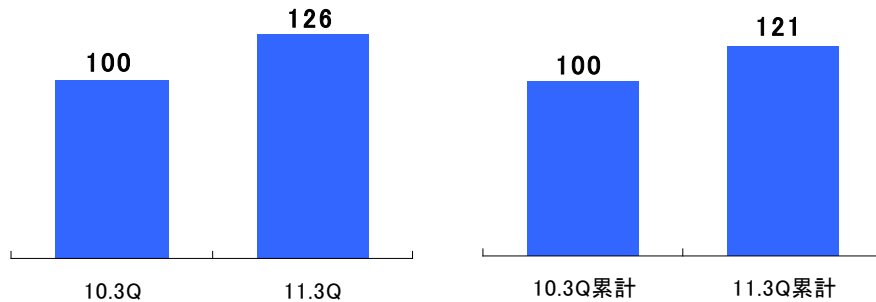
オプト事業 販売状況(数量ベース)



KONICA MINOLTA

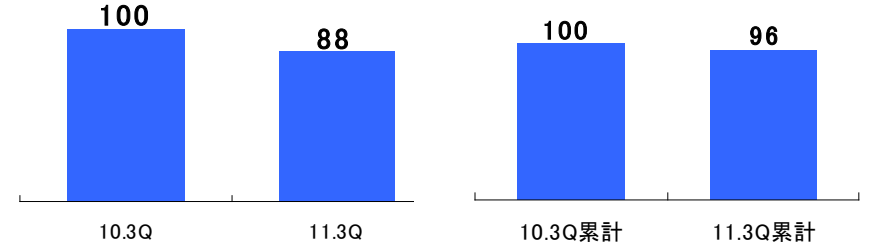
TACフィルム

- ▶ 当期間を通してVA-TACが堅調に推移。3Qでは薄膜品主体に通常品も伸長。



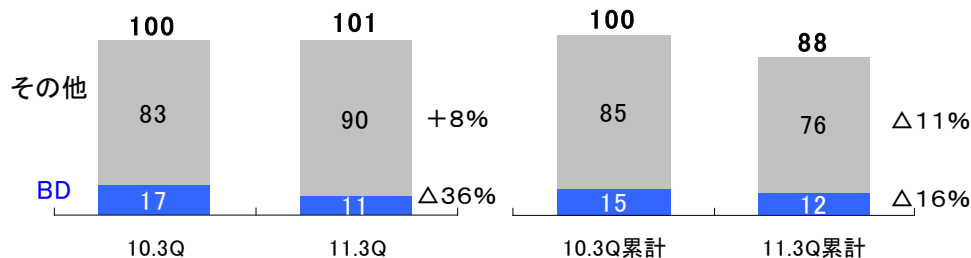
HDD用ガラス基板

- ▶ 生産調整及びタイ洪水の影響を受け3Qでスローダウン。



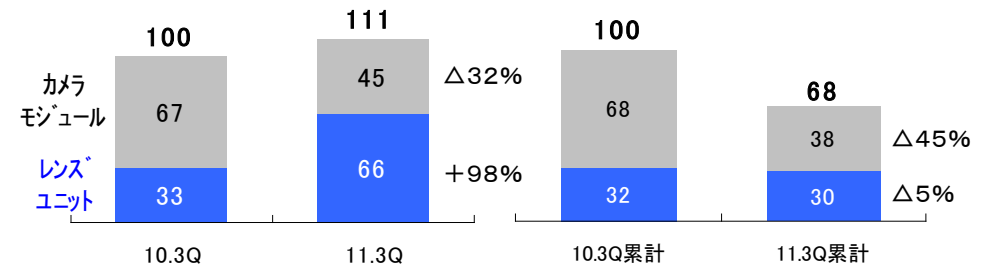
光ピックアップレンズ

- ▶ 3QはDVD用が持ち直すも、BD用は回復せず。



カメラ付携帯電話用光学ユニット

- ▶ 3Qはレンズユニットが持ち直すも、全般には低迷が続く。



10.3Q/10.3Q累計を100とした場合の指数

ヘルスケア事業 概況

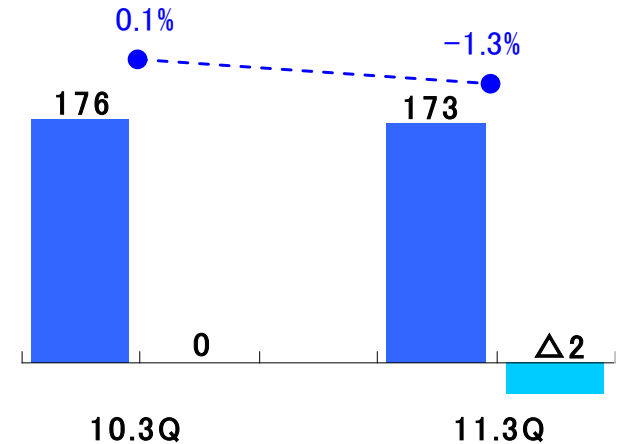


KONICA MINOLTA

3Q実績(10-12月)

- 売上高: 前年同期比 $\Delta 2\%$ (為替影響除くと前年並み)
- 営業利益: 前年同期比 $\Delta 2$ 億円(為替影響除くと前年並み)
- ▶ デジタル入力機器: CRやDRの新製品投入が売上増に寄与。
- ▶ DRYフィルム: フィルムレス化の加速により、日本中心に先進国での販売が想定以上に減少。
- ▶ 売上減に加えて、円高や銀価格高騰、販売価格の低下が損益を圧迫。

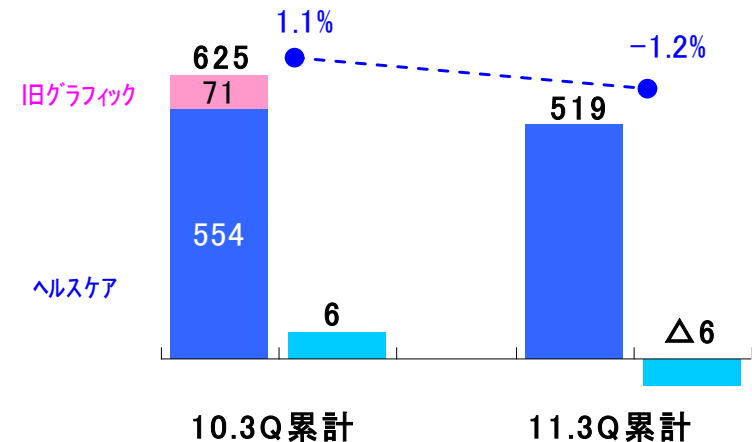
左:売上高 右:営業利益 一営業利益率 【億円】



3Q累計実績(4-12月)

※旧グラフィック事業除く伸長率

- 売上高: 前年同期比 $\Delta 6\%$ (為替影響除く $\Delta 4\%$)
- 営業利益: 前年同期比 $\Delta 12$ 億円(為替影響除く $\Delta 4$ 億円)
- ▶ 前年同期の上半期には旧グラフィック部門の売上高(71億円)、営業利益(1億円)を含む。



ヘルスケア事業 販売状況(数量ベース)

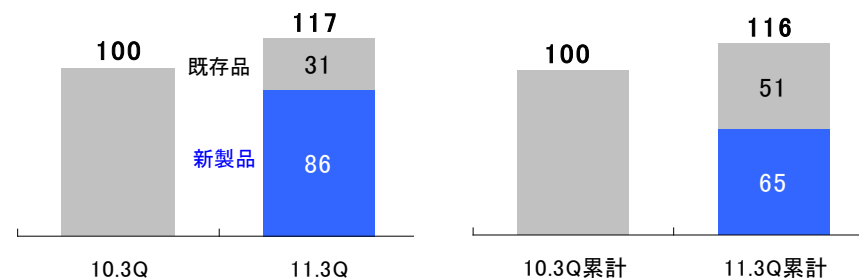


デジタル入力機器(CR・DR)

- ▶ 当期間を通して国内外でCR・DR新製品が牽引。

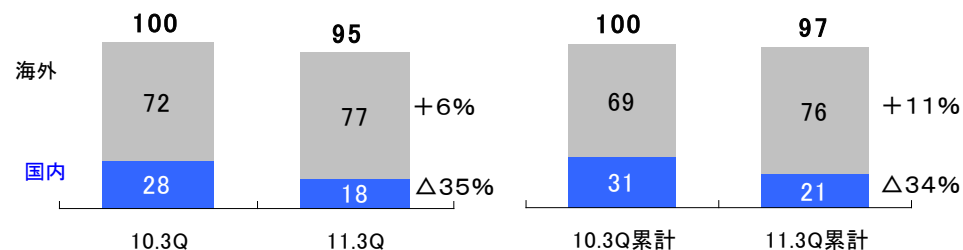
10.3Qを100とした場合の指数

10.3Q(累計)を100とした場合の指数



DRYフィルム

- ▶ 中国中心に新興国で販売増となるが、日本など先進国での販売減により、前年割れが続く。



2011年度業績予想 全社業績



KONICA MINOLTA

	今回予想	前回予想 ('11.10.28公表)	差異	[億円] 10年度実績
売上高	7,800	7,800	0	7,780
営業利益	400	400	0	400
(営業利益率)	5.1%	5.1%		5.1%
のれん代償却額	90	90	0	84
のれん代償却前営業利益	490	490	0	484
(のれん代償却前営業利益率)	6.3%	6.3%		6.2%
経常利益	350	350	0	332
四半期純利益	190	190	0	259
(四半期純利益率)	2.4%	2.4%		3.3%
1円変動時の為替感応度(年間)				
	売上高	営業利益		
US\$:	29億円	4億円		
Euro:	14億円	8億円		
為替レート [円] USD	78.00	78.00	0.00	85.71
Euro	100.00	105.00	△ 5.00	113.11
	※11.4Q想定レート	※11.3Q以降想定レート		
設備投資	400	500		430
減価償却費	550	650		551
研究開発費	760	780		726
FCF	180	80		232

2011年度業績予想 セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

[億円]

売上高	11年度予想 (‘11.10.28公表)	10年度実績	増減
情報機器	5,500	5,396	104
オプト	1,260	1,298	△ 38
ヘルスケア	790	850	△ 60
その他事業	170	157	13
ホールディングス他	80	78	2
グループ計	7,800	7,780	20

営業利益	前回予想 (‘11.10.28公表)	10年度実績	差異
情報機器	378	375	3
オプト	142	128	14
ヘルスケア	6	2	5
その他事業	26	22	4
ホールディングス他	△ 153	△ 127	△ 26
グループ計	400	400	0

4Q業績目標達成のポイント



KONICA MINOLTA

最終4Qにおいてグループ収益の最大化を図る

- ▶ 情報機器事業では、モメンタム良好なプロダクションプリント、オフィスカラーを中心に販売強化に注力する。4Q投入のカラー新製品が戦列に加わり、競争力・採算性ともに向上。
- ▶ 更に、獲得したグローバル大口案件のプレースメントを確実に4Q収益につなげる。
- ▶ 加えて、3Qに実施した国内販売組織の構造改革効果が4Q損益へ寄与する見込み。
- ▶ オプト事業では、VA-TAC及び薄膜TACフィルムの販売強化に注力する。

円高(ユーロ前提を5円円高に見直したこと)への対応

- ▶ 情報機器事業では、地域別に市場状況を考慮しながら、値上げを実施する。
- ▶ メリハリをつけたコストダウン、経費削減を徹底する。

4Q目標達成において考慮すべきリスク

- ▶ (一部欧州で既に顕在化しつつある)景気後退を懸念した企業・官公庁での投資抑制の拡大。
- ▶ 4Qで見込まれるタイ洪水影響(約△10億円)に対する期中キャッチアップの達成確度。

4Q収益に貢献するカラーMFP新製品



KONICA MINOLTA

プロダクションプリント用高速カラーMFP



bizhub PRO C6000L

企業内印刷をメインターゲットにした「ローコストで”PRO”仕様の高性能パフォーマンス」を提供する高速カラーMFP

- ▶ 60枚/分の高速カラー出力と広範な用紙対応力
- ▶ 独自の画像処理技術・コントローラによる上位機並みの高画質
- ▶ 植物由来成分を含む環境配慮型の重合トナーを搭載

オフィス用A3カラーMFP

bizhub C754/C654



オフィスドキュメント環境の最適化を促進する「ビズハブ」最上位シリーズ

- ▶ スマートフォン・タブレットPCとの連携
- ▶ 75枚/分の高速出力(C754)
- ▶ 環境に配慮した省エネ設計

Giving Shape to Ideas

オフィス用A4カラーMFP

bizhub C25



優れたコストパフォーマンスのAll in One A4カラーMFP

- ▶ 設置面積49%減の省スペース設計
- ▶ カラー・モノクロとも24枚/分の高速出力
- ▶ A3機並みの充実機能



< 参 考 资 料 >

営業利益増減分析



KONICA MINOLTA

四半期 前年同期比較 (11年度3Q vs. 10年度3Q)		[億円]			
		情報機器	オプト	その他	合計
[要因]					
為替影響		△ 21	△ 2	△ 2	△ 26
価格変動		△ 13	△ 21	△ 1	△ 36
特殊要因		△ 5	△ 10	-	△ 15
数量増減他		107	16	△ 2	121
コストダウン		△ 3	9	1	7
経費増減		△ 35	12	△ 8	△ 31
[営業利益]					
増減額 (YoY)		30	4	△ 14	20
3Q累計 前年同期比較 (11年度 vs. 10年度)		[億円]			
		情報機器	オプト	その他	合計
[要因]					
為替影響		△ 22	△ 12	△ 10	△ 45
価格変動		△ 61	△ 68	△ 5	△ 134
特殊要因		△ 40	△ 10	-	△ 50
数量増減他		225	27	△ 15	238
コストダウン		△ 12	25	3	16
経費増減		△ 102	35	△ 6	△ 73
[営業利益]					
増減額 (YoY)		△ 13	△ 3	△ 33	△ 50

販売管理費・営業外損益・特別損益



KONICA MINOLTA

				[億円]		
	11年度 3Q	10年度 3Q	YoY	11年度 3Q累計	10年度 3Q累計	YoY
販売管理費						
販売変動費	102	100	2	316	331	△ 14
研究開発費	187	188	△ 1	555	541	14
人件費	296	287	9	887	860	27
その他	203	206	△ 3	609	631	△ 22
販売管理費 計	787	780	7	2,368	2,363	4
	* 為替影響額: △ 24 億円(実質増減 +31 億円)			△ 56 億円(実質増減 + 60 億円)		
営業外収支						
金融収支	△ 1	△ 3	2	△ 6	△ 10	4
為替差損益	5	△ 6	11	△ 29	△ 39	10
その他	△ 8	△ 4	△ 5	△ 8	△ 11	3
営業外収支 計	△ 4	△ 13	9	△ 44	△ 60	16
特別損益						
固定資産売却損益	△ 5	△ 3	△ 2	△ 12	△ 12	△ 1
投資有価証券および 関係会社株式評価・売却損益	△ 0	5	△ 6	△ 24	△ 10	△ 14
固定資産減損損失	△ 1	△ 0	△ 0	△ 1	△ 1	△ 0
事業構造改善費用	△ 12	△ 1	△ 11	△ 12	△ 33	21
その他	1	1	△ 0	1	△ 4	5
特別損益 計	△ 17	3	△ 20	△ 48	△ 60	12

キャッシュ・フロー



KONICA MINOLTA

[億円]

	11年度 3Q	10年度 3Q	YoY	11年度 3Q累計	10年度 3Q累計	YoY
税金等調整前四半期純利益	56	47	10	141	163	△ 22
減価償却費	124	137	△ 13	360	411	△ 51
法人税等の支払額	△ 31	△ 33	1	△ 43	△ 64	21
運転資本増減他	△ 40	△ 74	34	32	△ 116	148
I. 営業活動によるキャッシュフロー	109	76	32	490	395	95
II. 投資活動によるキャッシュフロー	△ 91	△ 145	54	△ 313	△ 337	24
I.+ II. FCF	18	△ 68	86	177	58	120
有利子負債の増減	353	341	12	316	310	6
配当金の支払額	△ 38	△ 39	0	△ 78	△ 78	0
その他	△ 5	△ 4	△ 1	△ 13	△ 11	△ 1
III. 財務活動によるキャッシュフロー	309	298	11	226	221	5

貸借対照表



KONICA MINOLTA

	[億円]		
	11年12月	11年3月	増減
資産の部			
手元資金	2,159	1,751	407
売上債権	1,514	1,634	△ 120
棚卸資産	1,040	1,002	38
その他	564	631	△ 67
流動資産 計	5,277	5,019	258
有形固定資産	1,760	1,907	△ 147
無形固定資産	867	884	△ 17
投資その他	639	645	△ 6
固定資産 計	3,266	3,436	△ 170
資産 合計	8,542	8,455	88

負債および純資産の部

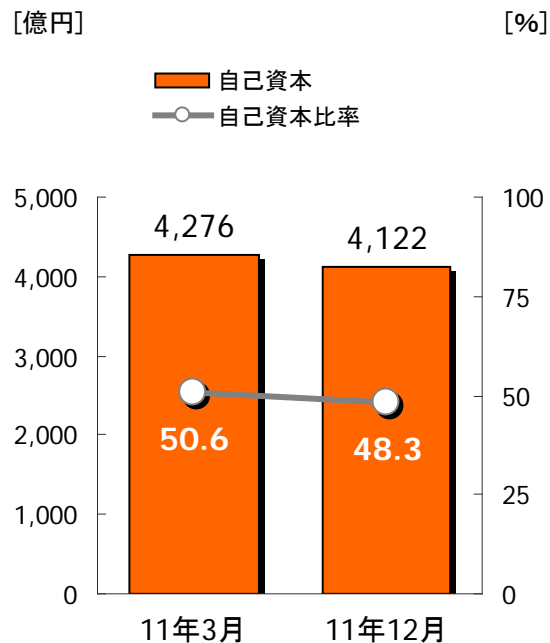
仕入債務	762	746	16
有利子負債	2,211	1,926	286
その他負債	1,434	1,493	△ 59
負債 合計	4,407	4,165	243
自己資本 (株主資本+その他包括利益累計額計)	4,122	4,276	△ 155
その他	13	13	△ 0
純資産 合計	4,135	4,290	△ 155
負債・純資産 合計	8,542	8,455	88

	[円]		
	11年12月	11年3月	増減
US\$	77.74	83.15	△ 5.41
Euro	100.71	117.57	△ 16.86

連結貸借対照表 主要指標

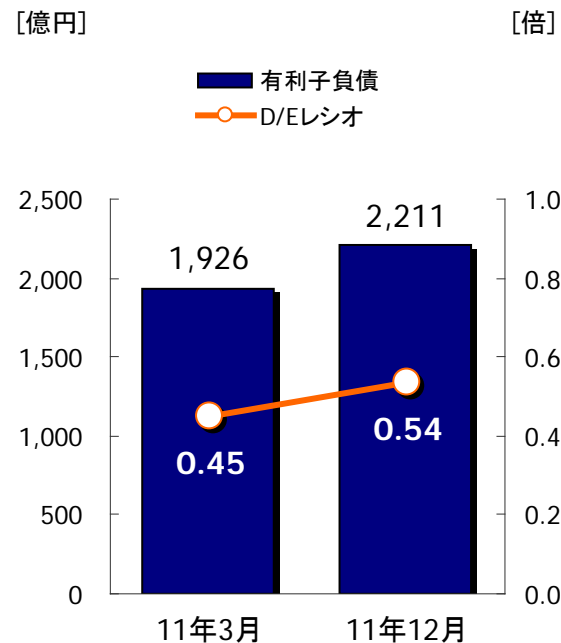


● 自己資本比率



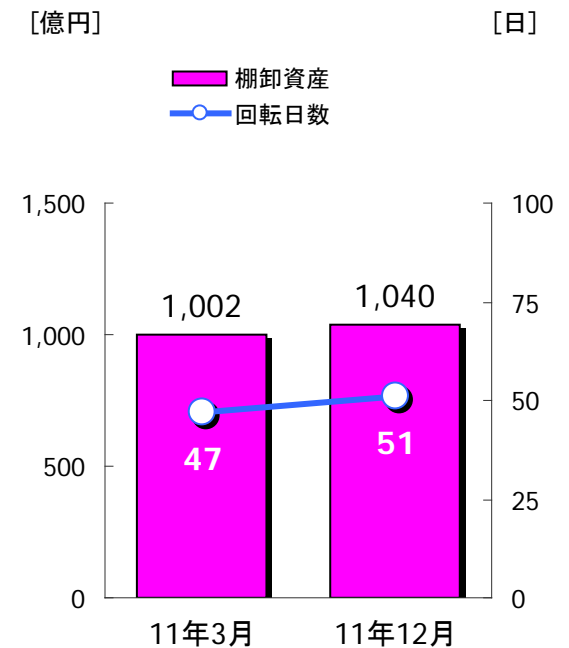
自己資本比率:
 自己資本÷期末総資産
 ※自己資本=期末株主資本+その他包括利益累計額合計

● 有利子負債残高・D/ELシオ



D/ELシオ:
 期末有利子負債÷自己資本
 ※自己資本=期末株主資本+その他包括利益累計額合計

● 棚卸資産・棚卸資産回転日数



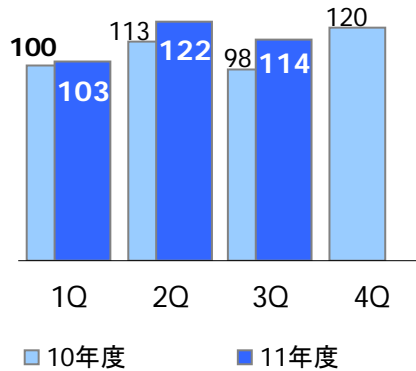
棚卸資産回転日数:
 期末棚卸資産÷(売上/日)

情報機器事業 主要製品販売状況



KONICA MINOLTA

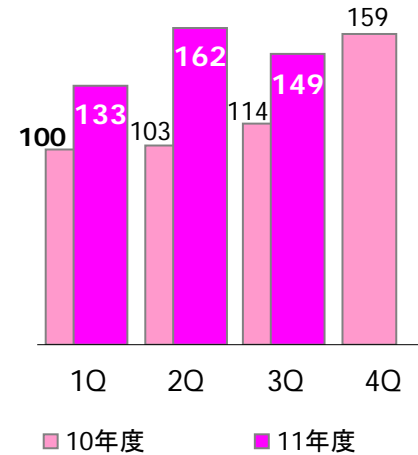
■ A3カラーMFP 販売台数*



YoY: +16%

QoQ: Δ7%

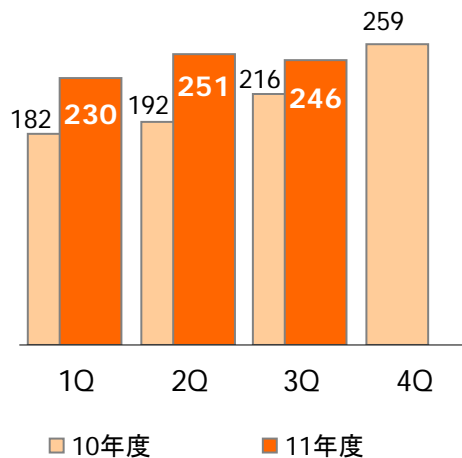
■ カラープロダクションプリント 販売台数*



YoY: +31%

QoQ: Δ8%

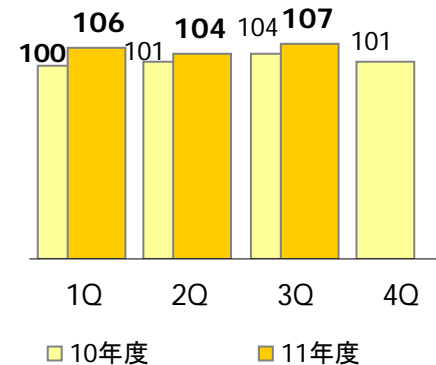
■ プロダクションプリント売上高 [億円]



YoY: +14%

QoQ: Δ2%

■ MFPノンハード売上* (為替影響排除後)



YoY: +3%

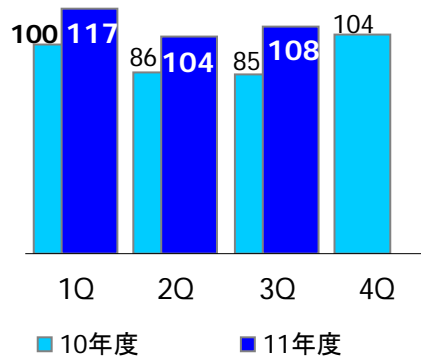
QoQ: +3%

オプト事業 主要製品販売状況



KONICA MINOLTA

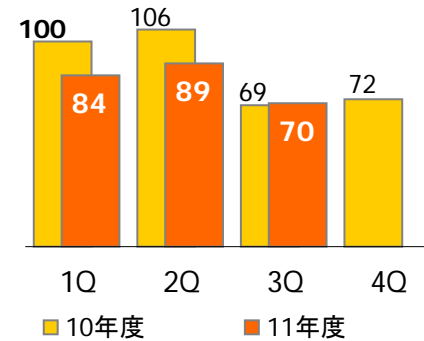
■ TACフィルム販売数量



YoY: +26%

QoQ: +4%

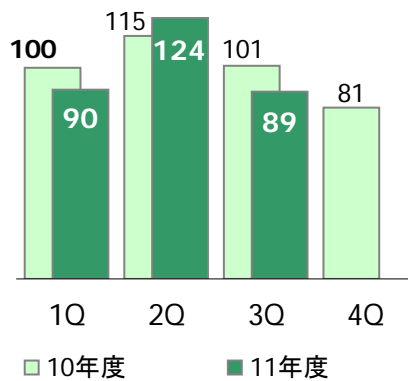
■ ピックアップレンズ販売数量



YoY: +1%

QoQ: Δ22%

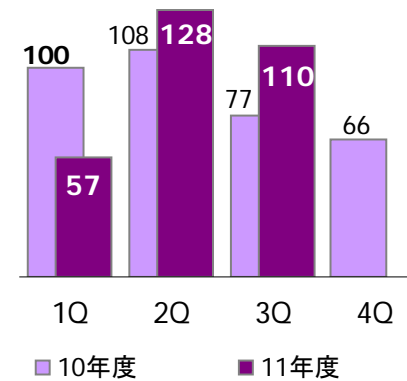
■ ガラスHD 基板販売数量



YoY: Δ12%

QoQ: Δ28%

■ レンズユニット/モジュール



YoY: +43%

QoQ: Δ14%